

新春日部

発行
日本共産党
春日部市委員会
春日部市粕壁東
6丁目7-12
電話 748-5159
FAX 748-5179

社会保障をよくする会が学習会と総会を開催

健康長寿のために、誰もが移動できる手段を

11月2日(日) 春日部社会
保障をよくする会が学習会と
第20回総会を開催しました。

学習会は「誰一人取り残さ
ない移動手段を考えよう」デ
マンド交通を中心に」と題

して、埼玉自治体問題研究所
事務局長の渡辺繁博氏が講演
しました。

講演内容の要旨は以下の通
りです。

健康長寿のために、交通 権(移動の自由)の保障を

今、世界は健康寿命をどこ
まで伸ばせるかが大きな課題
となっています。国立長寿医



講演する渡辺繁博さん

療研究センターの調査による
と、身体活動はするが地域活
動をしない人のフレイルリス
クは、身体活動はしないが地
域活動をする人の3倍高いこ
とがわかりました。

人とながかり、自己実現と
社会貢献に取り組める環境を
作るためにも、移動手段の確
保は重要ということでした。

外出機会の増加が健康を 増進すると国が提言

健康長寿の調査が進み、国
の交通政策が変化しました。

令和2年に法律に基づき、
「地域公共交通の活性化及び
再生の促進に関する基本方針」
が改正されました。

基本方針は、「地域公共交
通の利用促進による外出機会
の増加は、地域住民の健康増
進に寄与するとともに、将来
にわたる医療・介護分野にお
ける公的負担の軽減につな
がることが期待されることから
：地域公共団体における部局
を横断した連携の充実を図り
両分野の施策を推進していく
ことが重要」と住民の健康と
移動手段の確保の重要性を提
言しています。

事業者と共存できる「地域 公共交通計画」にしよう

春日部市は、「地域公共交
通計画」を作成しています。
国の基本方針には、「コミュ
ニティーバス、デマンド型乗
合タクシー、自家用有償旅客
運送など多様な交通サービ
スの導入との有機的な組み合
わせを一体的に進めることが
不可欠」とありますが、春日
部市は、デマンド型乗合タ
クシーなどの多様な交通手
段の検討が不十分です。

国は、公共交通活性化協
議会で交通機関が連携して
話し合い、決定したことには
補助金を出すことになってい
ます。協議会の構成員は、地
方公共団体の判断により柔軟
に追加することが出来ます。地
域交通関係事業者が連携し
て交通事業の総合性を確保
して、住民の交通権・移動の
自由を保障することが求めら
れます。

11月9日号と11月16日号は、合併号となります



**建設委員会
行政視察****技術者不足対策・地域公共交通対策・****水道スマートメーターなど視察**

10月28日～30日、建設委員
会行政視察が行なわれ、
今尾やすのり議員が参加し
ました。

**広域連携、合意
形成に課題も**

大阪府貝塚市では、泉州
地域（貝塚市を含む9市4
町）による土木・建築職員
の減少による課題解決に、
広域連携をしていく取り組
みを貝塚市が呼びかけまし
た。国土交通省の先導的官
民連携支援事業に申請採択
され、令和5年8月21日に
協定締結式を行ないました。
また、地域インフラ群再
生戦略マネジメント（群マ
ネ）では道路・公園・上下

水道などの広域連携を進め
るとして令和5年12月に国
土交通省のモデル地域に選
定されました。

しかし、街灯などのLE
D化や下水道の水質点検・
公園遊具点検・ドラレコ道
路AI点検など、参加自治
体は限られており、合意形
成が難しいそうです。

何故合意できないのか質
したところ、自治体として
問題は共有しているが現状
の職員が日常業務で多忙で、
手がまわらない、といった
大きな課題があります。

**住民主体の
取り組みも**

愛知県春日井市では、ゴ

ルフカート型の電動自動車
を利用した地域限定のラス
トマイル自動運転サービス
を地域住民主体のNPOを
設立し運営を行っています。
また、Maasアプリや乗
合タクシーの実証実験など
多彩な取り組みを実証実験
として取り組んでいます。

ラストマイル自動車運転
サービスでは、現状維持は
出来ているものの、自動運
転でありながらも運転者と
管理者2名の同乗が義務付
けられており謝礼も大変に
少額で今後の担い手など持
続可能な体制作りや、ドラ
イバーの負担軽減などが課
題となっています。

**漏水の早期発見に
期待も**

愛知県豊橋市では、水道
スマートメーターについて
視察しました。

豊橋市では将来的に検針
員の担い手不足に対応する
ためスマートメータ導入の
検討をしていたところ、中
部電力より協働の申し入れ
があり、結果として全国初
の水道・電気・ガスによる
共同自動検針を実現しまし
た。

設置場所として、大規模
開発地域と公共施設小規模
配水区・集合住宅などとし、
通信性の検証・改良などを
行なってきました。

また、設置家庭では水道
使用量や料金などもわかる
「見える化」も行なってお
り、これによって漏水の早
期発見につながった事例も
あります。また、公共施設
の水の無断使用や配水区で
の漏水発見にも効果がある
ようです。

課題はライフサイクルコ
ストがアナログの約4倍以
上という状況があります。

市立医療センターTel735-1261（土・日・祝の昼間と夜間毎日）内・外 小児救急電話相談#7119

11/9(日) 内科系 三須医院（粕壁東1-11-12）☎752-2200 小児科系 ファミリークリニックまの（千間1
-59-5）☎736-5155 外科系 桜井整形外科（増富96-3）☎761-6629

11/16(日) 内科系 木田内科医院（中央1-11-4清興ビル1階）☎763-0183 小児科系 グレース家庭医療クリ
ニック（大倉610-10）☎718-0107 外科系 五百木整形外科医院（中央5-5-19）☎736-9977